

県民公開授業

※県民の方は無料で聴講できます。予約不要。
(新館 1 階第 2 講義室。男性も参加できます)

芸術の現場から

アーティストによるレクチャー

アート関係者から生の声を聴く



日本の第一線で活躍するアート関係者から、ホットな話題を自分の体験とともに提供してもらいます。
スケジュール 毎週水曜日 4 時限 (14 : 40 ~ 16 : 10) < 授業責任者 : 藤沢 桜子 >

2013年

10月 9日	紅竹 (こうちく)	【デザイン】	[絵師。ゲームクリエイター。家庭用ゲームソフトのアートディレクションなど]
10月16日	松本 俊夫	【映画】	[映画監督。『どぐらまぐら』『薔薇の葬列』等制作。映画理論家としても知られる]
10月23日	off-Nibrol	【舞台芸術】	[ダンスカンパニー「ニブロール」の振付家・矢内原美邦と映像作家・高橋啓祐によるユニット]
11月 6日	青木 ゆかり	【デザイン】	[TBSテレビ美術プロデューサー・デザイナー。番組「南極大陸」「とんぼ」などを担当]
11月13日	松林 要樹	【映画】	[映画監督。『花と兵隊』、原発事故直後の福島相馬をめぐる『相馬看花』等のドキュメンタリー映画を制作]
	三浦 哲哉	【映画】	[イメージ・フクシマ代表。東日本大震災と原発事故の関連映画の上映活動を展開。青山学院大学講師]
11月20日	中村 恩恵	【舞台芸術】	[舞踊家。ローザンヌ国際バレエコンクールで受賞後、モンテカルロバレエ、J・キリアンのNDT等で活躍]
11月27日	藤橋 誠	【映画】	[映像作家。映画を中心にCM、PVなどあらゆる領域で制作を行っている。玉村町の映画『漂泊』監督]
12月 4日	玉虫 美香子	【芸術の運営】	[アート・アドミニストレーター。コンサートなど舞台公演の企画・制作]
12月11日	加藤 麻由美	【デザイン】	[デザイナー。(株)ほんやら堂企画担当。サンリオ企画部、ぬいぐるみデザイナーを経て、現職]
12月18日	唐澤 敏之	【芸術の運営】	[中之条町企画政策課主任。中之条ピエンナーレ実行委員会事務局]

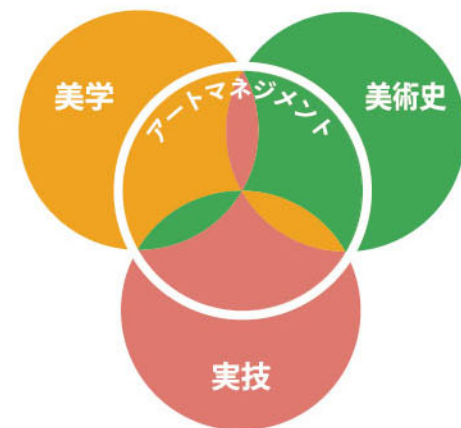
2014年

1月15日	岡田 ゆかり	【芸術の運営】	[本学卒業生。ハラミュージアムアーク学芸員。渡辺五大展、かげの博物館展他。現在作品管理他担当]
1月22日	石原 香絵	【映画】	[NPO法人映画保存協会代表。2010年、東京都文京区の委託事業として「文京映像史料館」を発足]

※都合により曜日、時間帯が変更になる場合は、本学科ホームページの「芸術の現場から スケジュール」でお知らせしますので、ご確認ください。また電話でのお問い合わせは、大学事務局までご連絡ください。

美学美術史学科とは

本学科は、以下の3つの領域から構成されています。



美学

美や芸術について理論的、哲学的に考える

美術史

西洋美術史と日本美術史を中心に芸術の歴史を学ぶことで、人間が美をどのようにして作り出してきたのかを探求する

実技

絵画とデザインを中心に彫刻、日本画、陶芸等幅広い実技を学び、個人の制作スキル向上を図る

文学部でこの3つの領域が学べる学科は全国にも数が少なく、本学科は、その3つの領域を学生一人一人の関心に応じてバランス良く学習することが出来ます。さらに、2012年度からその3つの領域をつなぐ新しい分野「アートマネジメント」を加わり、今まで以上に幅広く学ぶことができるようになりました。

また、芸術現場での体験、街や企業と連携した自律学修、実地研修などフィールドワークの授業も大きな特徴になっています。

■群馬県立女子大学大学周辺地図



JR最寄駅からの交通機関

新町駅 □永井バス(玉村町役場・前橋公園行)で約10分。
女子大前で下車。徒歩すぐ。
高崎駅 □群馬中央バス(県立女子大学行)で30分。
終点で下車。徒歩すぐ。
伊勢崎駅 □群馬中央バス(県立女子大学行)で25分。
終点で下車。徒歩すぐ。※新町駅からタクシーで約10分。

design : ryo takahashi



群馬県立女子大学 文学部 美学美術史学科

ゲイ・バリュ プログラム 2013

<http://www.gpwu.ac.jp/~aesth/>



■問い合わせ先 群馬県立女子大学事務局
〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1
メールアドレス daigaku@pref.gunma.jp

TEL 0270-65-8511 FAX 0270-65-9538
大学ホームページ <http://www.gpwu.ac.jp/>



いざなう・語る

県立女子大学の講義で芸術を学ぶ

芸術によるレクチャー

<芸術へいざなう>芸術のたのしさ、素晴らしさを知ってもらう講義です。

- 日本美術に親しむ1 (大石 利雄)(前期) 木曜 5 時限 (16:20 ~ 17:50)
- 西洋美術に親しむ1 (藤沢 桜子)(前期) 火曜 4 時限 (14:40 ~ 16:10)
- 西洋美術に親しむ2 (大野 陽子)(後期) 月曜 3 時限 (13:00 ~ 14:30)
- 装う2 (藤井 享子)(後期) 火曜 2 時限 (10:40 ~ 12:10)
- 舞踊の世界へ (阿部 さとみ)(前期) 月曜 3 時限 (13:00 ~ 14:30)

<芸術を語る>芸術についての深い考察をする講義です。

- 音・言葉・形象 (馬場 朗)(後期) 火曜 3 時限 (13:00 ~ 14:30)
- 芸術と社会 (奥西 麻由子)(前期) 月曜 4 時限 (14:40 ~ 16:10)
- 身体芸術(舞踊) (武藤 大祐)(前期) 月曜 2 時限 (10:40 ~ 12:10)
- 音に語らせる (瀬尾 文子)(前期) 水曜 2 時限 (10:40 ~ 12:10)

※県民の方は聴講生として参加できます。詳細は、大学ホームページ等をご覧ください。

芸術の現場へ1

地域に根ざす伝統と文化活動に触れる

伝統工芸/上映

コース1またはコース2のいずれかを選択します。

コース1

「伝統工芸の現場 染め」 [6月初旬と12月の二回の土曜日を予定、計3日間]

- 藍田正雄・吉村靖子：現代に生きる伝統とその再生—染めの現場へ

藍田正雄（小紋師で県指定重要無形文化財保持者：文化庁長官賞など受賞多数）の工房で江戸小紋を、吉村靖子（「たかさき紅の会」代表）とともに染めの紅板締め復元を、それぞれ体験し現在に生きる染めの伝統の理解を深めます。

「伝統工芸の現場 織り」 [9月下旬の4日間（予定）]

- 新井求美・新井正直：現代に生きる伝統—織りの現場へ

新井求美（桐生で織り同好会主催）、新井正直（群馬県繊維工業試験場）と群馬の織物文化に触れつつ工房の織り機で、実際に織りを体験します。

コース2

「上映の現場」 [前期から上映企画関連のセミナーと後期に本学にて上映予定]

- 柳下美恵・志尾睦子・石原香絵と本学教員【予定】：大衆とともにある現代—上映の現場へ

柳下美恵（サイレント映画ピアニスト）／志尾睦子（高崎映画祭総支配人・本学卒業生）石原香絵（NPO法人映画保存協会代表）／稲野強・植村恒一郎・戸澤義夫（本学名誉教授及び教員）上記の方々の協力のもと、学生と共同セミナー・上映会を企画。

<授業責任者：馬場 朗>

芸術の現場へ3

パフォーマンスの現場を作り出す

パフォーマンス/イベント

学生が主体となりパフォーマンスやイベントを展開。コース1～3の選択制ですが複数受講も可。

コース1

アートプロデュース実践講座 指導…小見純一（NPO法人 前橋芸術週間/フリッツ・アートセンター）

本年度は「前橋アートコンペライブ」（美術作品の公開審査会）の運営等、地域でのアートプロジェクトのプロセスを学びます。その他に玉村町地域映画『漂泊』の制作サポート、「劇団どくんご」（テント芝居）玉村公演、学内フリマなど。

コース2

ゼロからの能（仕舞）実技 指導…下平克宏（観世流能楽師）

学内にて定期的に能（仕舞）の稽古を受講します。経験不問。発表会も予定しています。

コース3

プロジェクトデザイン実践 指導…六本木勇治（ファッション&プロジェクトデザイナー）

指導担当がファシリテートとコーディネートを行ないながら、「学生」と「地域」がコラボレーションし、商店街、道の駅、美術館、天文台、神社、スキー場、大学などで行なう様々なプロジェクトをデザインします（「キャンドルナイト」「Fashion Party」等）。

<授業責任者：武藤大祐>



芸術の現場へ4

アートと病院がコラボレーションする

アートワークショップ

玉村町にある一病院を舞台に、利用者、職員の皆さんとともに協同でアートワークショップを開発し、実践していきます。制作を共有する事によって得られるコミュニケーションを大切にしながら、現代社会に求められる「豊かな時」を過ごすために美術、造形がどのように機能し得るか考察していきます。[原則、後期月曜日5限/実践日：土曜日 2回] <授業責任者：下山 肇>

芸術の現場へ5

ビデオアートの制作に挑戦する

ビデオアートの実践

身近な表現方法／コミュニケーションの道具である映像を素材としてビジュアル表現の可能性を探索します。外に出てアクティブに活動しながら撮影や編集作業、展示をして、ビデオアートをアーティストとともに実践していきます。 [8月上旬、集中講義] <授業責任者：森 弘治>

芸術の現場へ6

地域コミュニティを元気にする

実践による自律学習

本学デザインゼミ・絵画ゼミの実践活動。デザイン・美術が社会的に意味を持つことを実践的に研究しています。県庁、群馬県企業、前橋市、大学、伊香保温泉、病院、地方商工会など様々な団体から依頼を受け、協同でプロジェクトの企画立案、デザイン開発、作品制作による実践活動を行ないます。 [通年] <授業責任者：高橋 綾・山崎真一>

芸術の現場へ7

海外へ飛び出しアートを体験する

芸術学部海外留学

海外で現地の文化に深く触れ、美術館や歴史的建造物、そして、オペラ・コンサートなど実際にアートを鑑賞します。個人で自発的に計画を立てることができます。また本学海外短期留学・研修制度を利用することも可能です。 <授業責任者：馬場 朗>

芸術の現場へ8

社会に向けてデザインを提案する

デザイン4（実践）授業

学生たちの視点で、社会に必要なアート&デザインを提案するデザイン4（実践）の授業です。病院内の利用者・職員とコミュニケーションを大切にしながら、病院に必要なアートを制作・提案します。もう一つは、女性のための最適なアイテムを群馬県内企業と協同で商品開発（デザイン・企画）し、全国販売まで行ないます。 [前期月曜日4、5限] <授業責任者：高橋 綾>

芸術の現場へ9

子どもとワークショップを実践する

絵画4（絵画）授業

絵画4（絵画）を履修する学生が、保育所に向向き、子供に向けたワークショップを行います。美術をきっかけにして、子供が持つ好奇心を最大限に引き出し、そのエネルギーを制作に結びつけていくことを目的とします。学生は、制作のプロセスを大切にしながら、子供の感性を受け止め、人と人を「つないでいく」ための能力を培います。 [後期金曜日3、4限] <授業責任者：山崎真一>

芸術の現場へ2

展示会の企画と運営を体験する（本年度休講）

県立近代美術館とのコラボレーション